

「第2次草津市農業振興計画に基づく取組予定（基本方針3『農』を通じたつながりの拡大）」

※重点事業太字

基本施策	取組事業	前年度審議会における当該年度取組予定	前年度取組実績	前年度進捗状況の考察	当該年度取組予定
地産地消の推進	草津市産農産物の流通拡大				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やさいバス株式会社が実施する実証実験について、農業者への周知、フォロー面で協力し、ニーズに応じた流通システムの構築を支援します。</li> <li>・ 小売店・ホテル等での草津市産農産物の取扱いの増加に向け、安定した数量等を確保したうえで新規開拓を進めていきたい意向のある農業者の実態調査を行います。</li> </ul>
	<b>草津市産農産物の利用拡大</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立命館大学×草津ブランド推進協議会による草津ブランドの認知度を高めるキャンペーンを展開し、大学の学食で愛彩菜を使った商品の販売や、草津ブランドのPRパンフレットの中で、愛彩菜、琵琶湖からすま蓮根、琵琶湖元気アスパラを活用したレシピを掲載し、認知度向上と消費拡大を図ります。</li> </ul>
情報発信・ふれあいの機会の推進	<b>情報発信の充実</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「農」に関するイベントの開催案内等を市HPや広報を通じて周知することや、草津ブランド推進協議会のinstagram等を活用し、イベント風景や取組状況を発信することで、取組内容の啓発も進めます。</li> <li>・ これまでの情報発信だけでなく、広く市民の方に発信することが重要であることから、YouTubeをはじめとしたスマートフォンを媒体とした情報の効果的な発信方法のあり方を調査・研究します。</li> </ul>
	市民農園の活用推進				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、市が管理している市民農園の利用率は概ね100%近くで推移していることから、新規入園者の拡大に対応する受け皿をどのように確保していくか調査・研究します。</li> <li>・ 市民農園の利用者を対象に菜園講習等を実施することで、ノウハウの共有および利用者同士が交流できる機会を設けます。</li> </ul>
	グリーンツーリズムの推進				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他市等の取組事例を調査し、受け皿となる農業者をはじめとし、各種関係機関の着地型観光実施に向けた意向や課題を調査・研究します。</li> <li>・ 道の駅草津での農業体験や収穫体験などのグリーンツーリズムを進めるため、各種関係機関と連携、調整を図ります。</li> </ul>
	家庭菜園・ベランダ菜園の推進				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント等での野菜の袋栽培の実演を通して、庭やベランダ等でも容易に野菜づくりができることを発信し、市民に「農」を身近に感じる機会を創出します。</li> <li>・ 家庭菜園での野菜づくりについて、興味関心を持つ市民を対象に講座を開催します。</li> </ul>
	農業振興拠点施設の機能の拡充				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅草津リノベーション構想に基づき、設置目的である「農業振興」を図るため、利用者等にとって魅力ある施設の実現に向けたソフト面・ハード面の機能向上に向け、運営者や関係機関等との協議を進めます。</li> </ul>
	即売会等の実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草津ブランド市をはじめとした各種イベントを開催し、市民が農にふれあう機会を創出します。</li> </ul>
	食農教育の充実				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従来から実施している小学生を対象とし、「育て」「収穫し」「食べる」までの一貫した体験学習「たんぼのご体験事業」の他、未就学児を対象として、野菜づくり体験「はたけのご体験事業」を実施し、次世代を担う子どもたちに「農」に関わる機会を設けます。</li> </ul>
異業種連携の強化	関係機関との連携強化				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A や県等と定期的に連携会議を開催することにより、情報共有を図るとともに、農業者への支援を行います。</li> <li>・ 広域協議会へ参画し、市域を越えた広域的な産地形成に向けた情報共有や農業者への支援になる新たな取組の提案を行います。</li> </ul>
	農福・農商・農学の連携強化				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草津市立長寿の郷ロクハ荘との草津の伝統農産物である「山田ねずみ大根」を用いたくあん漬け講習会による農福連携や、立命館大学食マネジメント学部との「山田ねずみ大根」の栽培から加工・調理レシピ作りによる農学連携を実施する。</li> <li>・ 農商・農学連携の取組として、草津ブランドである「あおばな」の商品開発に係るマーケティング等を事業者、教育機関や研究機関等と連携のうえ、調査・研究します。</li> </ul>
環境に配慮した農業の推進	環境保全型農業の推進				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の推進する「CO2ネットゼロヴィレッジ創造事業」の動向を注視し、土地改良施設や水路に太陽光パネルを設置し、スマート農業への利活用することが可能か調査・研究します。</li> <li>・ 環境保全型農業に関連する県や他市等の取組事例を調査・収集し、より効果的な啓発・周知の手法の検討します。</li> </ul>
	資源循環型農業の推進				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野菜残さを活用した資源循環型農業に関する県や他市等の取組事例について調査・研究を行うとともに、野菜残さの処理に課題を抱える農業者と連携し、課題解決に向けた方策を検討します。</li> <li>・ 温暖化対策担当部署と連携し、脱炭素社会の実現に向けた資源循環型農業の啓発に関するイベント等を開催します。</li> </ul>